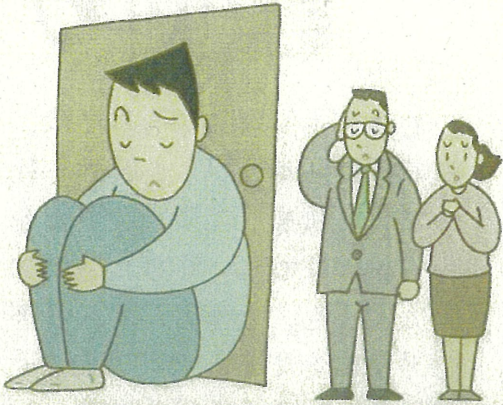


ひきこもり相談 始めました



ひきこもりの相談の
大半はご家族からです。

令和 3 年 4 月から幕別町は、おおむね 6 か月以上ご家族以外の方との社会的な関係が持っていない方を対象とした相談を始めます。

ひきこもりは誰にでもおこりうることで、特別なことではありません。ご家族だけで抱え込まずに、まずはご相談ください。

○相談は無料です。ただし、ご利用に伴う通信費などは相談者ご自身の負担となります。

○相談の秘密は、厳守します。



月～金 午前 10 時から午後 5 時まで
年末年始、祝日を除く



〔24 時間受付〕

ただし、返信には時間がかかります。
ご了解ください

【相談窓口】

電話 0155 (54) 6612 (福祉課代表)

メール kibou-soudan@town.makubetsu.lg.jp

幕別町住民福祉部福祉課 (ひきこもり支援アドバイザー)



《定期相談会》 相談者にそれぞれの会場に来ていただき、相談を行います。

〇とち生活あんしんセンターの生活相談会と同じ日程、場所で定期相談会を行います。生活相談会は事前予約を必要としますが、『ひきこもり相談』は、当日予約なしでも構いません。待っていただくこともありますので、前日までにご予約いただくことをおすすめします。

《令和3年4月～5月》

相談会 会場	札内コミプラ	幕別町保健 福祉センター	忠類ふれあい センター福寿
4月	27日(火)		6日(火)
	① 15:00~15:50 ② 16:00~16:50		① 15:00~15:50 ② 16:00~16:50
5月	7日(金)	25日(火)	
	① 12:30~13:20 ② 13:30~14:20	① 15:00~15:50 ② 16:00~16:50	

※6月以降の予定は、後日お知らせします。

〇1 相談 50分としますが、改めて別日で個別相談を設定することもできます。ご相談ください。



ひきこもり状態の長期化は、当事者の身体並びに心理的・社会的な「健康」に深刻な影響を与えかねません。長期化させないためにも、当事者ご本人の来談や受診をできるだけ早期に実現させることが肝心です。

「まだいいかな」ではなく、支えるご家族の勇気ある決断と行動が必要です。

連絡をお待ちしています。

- 〇ご本人、ご家族が相談しやすい環境を準備します。
- 〇ご希望があれば、訪問相談にも応じます。
- 〇メールでも24時間受け付けます。即答はできませんが、必ず返信しますのでお待ちください。
- 〇ご家庭の環境を整えば、ZOOMによる面談も検討中です。希望する方はお申し出ください。

相談の対象は、

- 〇どこともつながっていない小中高校の不登校児童生徒とその保護者
- 〇おおむね6か月以上にわたり、社会的なつながりをもたない若者、大人およびその家族

【その他の相談】

〇こころのリカバリー総合支援センター

011(861)6353 center@kokoro-recovery.or.jp

〇北海道ひきこもり成年相談センター (北海道委託事業)

011(863)8733 (こころのリカバリーセンターHP)

〇かたつむりの会 (女性対象ひきこもり当事者会) *1

〇ビリーブ (家族会) *2

*1、*2については、福祉課にお問い合わせください

〇帯広保健所 こころの相談電話

0155(21)9110

〇自立相談支援センターとち生活あんしんセンター

0155(66)7112 anshin@tokachi18.hokkaido.jp

